

課題曲講習会講師プロフィール♪



福本信太郎 Shintaro Fukumoto

1994年昭和音楽大学を優等賞を受賞し卒業。同専攻科に進み、学長賞を得て修了。サクソフォーンを丸山胤幸、宗貞啓二、D.デファイエ、J.M.ロンデックス、E.ルソーの各氏に師事。

在学中より東京文化会館推薦音楽会、読売新聞社主催新人演奏会等数多くの演奏会に出演。1989年かながわ学生音楽コンクール管楽器部門最優秀賞受賞。1992年第1回ジュール・ドゥ・ヴリーズ国際サクソフォーン・コンペティション（スウェーデン）セミファイナリスト。1990年第7回日本管打楽器コンクールに最年少参加で入選。96年、99年同コンクールでは第2位に連続入賞。

サクソフォーン奏者として、シエナ・ウィンド・オーケストラ、NHK交響楽団、東京都交響楽団をはじめとする多くの在京オーケストラの公演及び録音に参加。東京佼成ウインド・オーケストラにおいては公演、録音に加え地方公演においてソリストも務めている。

また、1995年よりソロ・コンサート「福本 信太郎 SAXOPHONE NIGHT」を展開。2003年には日本オーケストラ連盟設立10周年記念演奏会において、オール・ジャパン・シンフォニー・オーケストラと岩代太郎氏の作品、ソプラノ・サクソフォーンと管弦楽のため『世界で一番遠い土地から』を共演。また、故武満徹氏の「写楽」には氏自らの指名によりサウンドトラックに参加するなど録音の分野でも活躍している。

近年は吹奏楽指揮者としても活動しており、昭和音楽大学において吹奏楽の常任指導講師を務めるほか、昭和ウインドオーケストラ常任指揮者、グラール・ウィンド・オーケストラのトレーナー等として各地で指揮、指導活動を行っている。

また、全日本吹奏楽コンクールにおいては川口市・アンサンブルリベルテ吹奏楽団、相模原市民吹奏楽団の2つの団体の常任指揮者として2001年より延べ7回出場している。

現在、日本サクソフォーン協会運営委員、21世紀の吹奏楽“響宴”会員および選曲委員、玉川大学吹奏楽団顧問、日本管打・吹奏楽学会執行役員、日本管楽合奏指揮者会議運営委員。昭和音楽大学専任講師を務め、後進の育成にもあたっている。